

商業の練習の方がよっぽど辛かった。

(左奥 土屋正勝さん、左手前 池永清さん、右奥 篠塚和典さん、右中央 木樽正明さん、右手前 澤井良輔さん)



黒潮野球塾につづいて反省会



昭和49年銚子商業優勝パレード

トークイベント

申込 銚子スポーツタウン ☎ (30) 1800

▶日時 7月6日(土) 13時~16時
▶場所 銚子商工会議所会館1階 大ホール
▶その他 先着200人。予約制。参加無料



銚子商業甲子園優勝50周年

問合せ スポーツ振興室 ☎ (24) 9559

「次の世代に野球の楽しさを伝えたい」

黒潮野球塾
篠塚さんの打撃指導
銚子出身の元プロ野球選手が
小学生に野球を教えます。



甲子園優勝50周年記念のトークイベントを前に、鰻を食べながら和気あいあいと、当時の裏話などを聴くことができました。その一部を紹介。

きつかけは憧れから
土屋・池永・篠塚さん 夏の甲子園で準優勝した木樽さんの代の皆さんにとっても影響を受けた。あのパレードに強烈な憧れを抱いた。
木樽さん 当時、優勝するものだと期待され、パレードの横断幕にも「祝優勝」と準備されていた。あとから「準」と小さく書き足したのは今となっては笑い話。
澤井さん 甲子園優勝した土屋さんの代から、野球王国銚子が過熱し、甲子園を目指した。スター選手にあげられることが野球を始めるきっかけになった。
池永さん 当時の遊びといえば野球だったからね。みんなはまりこんで野球をしていた。
甲子園のその先へ
篠塚さん ちょうど、優勝した甲子園大会から金属バットに変わった。木製を使い続けたのはプロ野球選手

を目指していたから。
土屋さん 高校で1番印象に残っている試合は甲子園で優勝した時の中京戦。夏まで肩と肘を壊していて投げられなかった分、あの試合の力投が忘れられない。
プロより辛い練習
土屋さん 「自転車おっべし」と呼ばれる伝統の練習がある。
パンクした自転車に人が乗り、ブレーキをかけた状態で上り坂を押す練習。これが本場にきつかった。
大会前の合宿では、通学路の坂にみんな倒れていた。高校野球が終わって寂しいという感情はなく、安堵感が強かった。
木樽さん プロの練習はきつくなく、個人の調整がメイン。銚子商の練習の方がよっぽど辛かった。



続きは会場での楽しみ!

夏の高校野球
7月6日開幕



甲子園優勝までの軌跡
昭和40年夏 第47回大会(準優勝)
準決勝の高鍋戦は8回裏に追いつき、9回裏にサヨナラ勝ち。決勝はエース木樽投手と三池工の上田投手の投げ合いに。あと一步のところで悲願の初優勝の夢は叶わなかった。
*昭和49年の優勝メンバー土屋さん、池永さん、篠塚さんを始め、多くの地元球児がこの大会を見て影響を受けた。
昭和48年春(センバツ) 第45回大会
一回戦、報徳学園に16-0で衝撃的な敗退。これで奮起した銚子商ナイン。
昭和48年夏 第55回大会(ベスト8)
一回戦に続き、二回戦も延長戦。両チームのエース、銚子商土屋投手と作新学院江川投手の力投が続いたが、延長12回裏、押し出しでサヨナラ勝ち。この年、銚子市で行われた「若潮国体」の決勝戦でも作新学院と対戦。3-2で競り勝ち、地元で国体優勝を果たした。
昭和49年夏 第56回大会(優勝)
土屋、筒井の両投手と篠塚、宮内、池永などの強力な黒潮打線、ち密な戦略家の斉藤監督や優秀なスタッフそれぞれのこれまでの努力が結実して、念願の全国制覇を成し遂げる。
【決勝 銚子商7-0 防府商】
5回まで両者無得点の緊迫した試合展開。6回裏、打者一巡の猛攻で一挙6点を挙げる。投げては、土屋投手が被安打3で三塁を踏ませず完封した。

江川さんのYouTubeチャンネルにて芯に当てられたのは篠塚さんだけだと語られた



昭和48年若潮国体。江川投手を擁する作新学院を決勝戦で破り優勝



外野席まで超満員の銚子市野球場

甲子園優勝を祝う銚子市民

